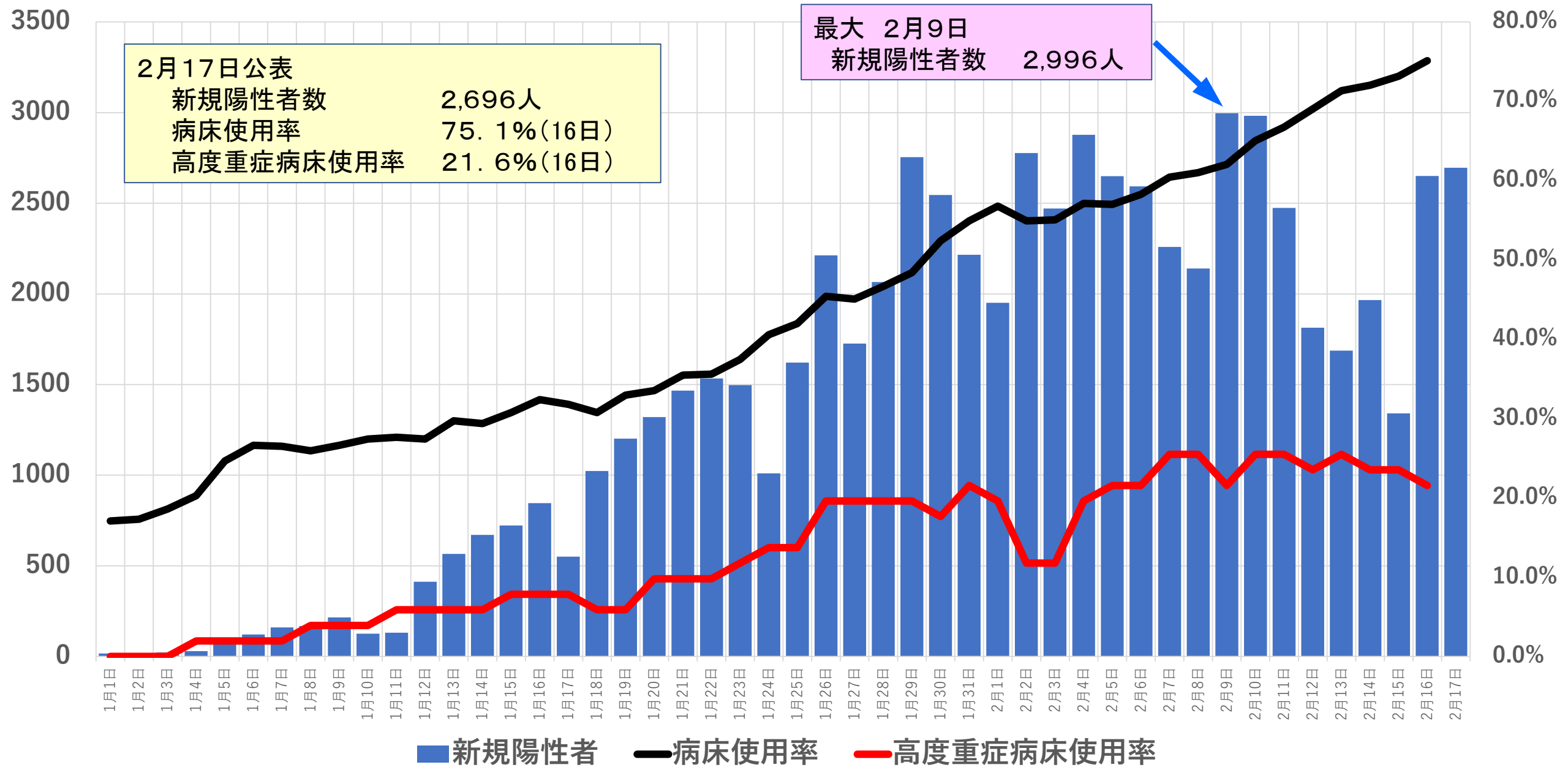
感染状況等を踏まえた今後の対応

令和4年2月18日　京都府知事　西脇 隆俊

新規陽性者数と病床使用率の推移



まん延防止等重点措置の延長

期間	令和４年２月２１日（月）０時から　３月６日（日）２４時まで （現在：令和４年１月２７日（木）０時から２月２０日（日）２４時まで）
区域	京都府全域
内容	（１）府民・事業者への行動に対する要請 ①　基本的な感染防止 ②　リスクを低減する行動を ③　社会機能を継続するために （２）事業者への営業時間短縮、人数制限等に対する要請 ①　飲食店等の営業時間短縮等 ②　飲食店等以外の施設への要請 ③　催し物（イベント等）開催にかかる人数制限等

継続

追加　オミクロン株の特徴を踏まえた学校等の感染防止対策

オミクロン株の特徴を踏まえた感染防止対策

重点的な取組

学校等

保育所等

高齢者施設等

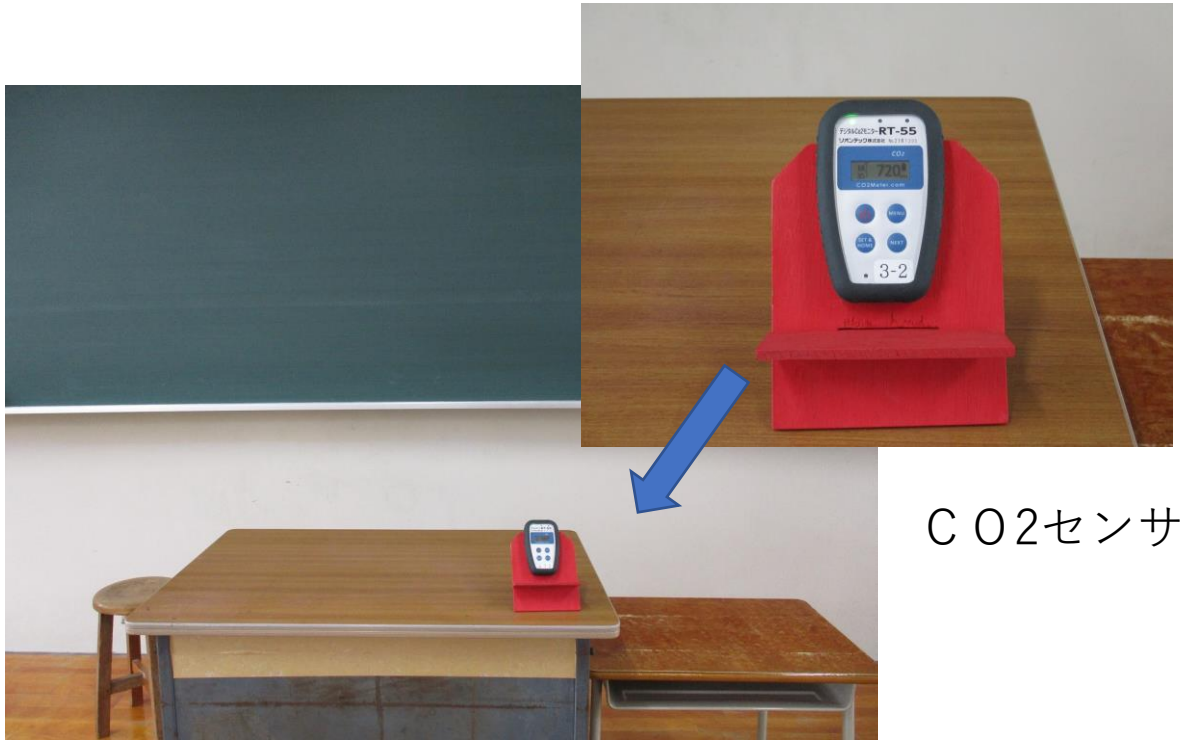
学校等における対策

- ◆ 感染対策を再点検し、必要に応じて強化すること
- ◆ 合唱や実習等の特に感染リスクが高い教育活動は実施を控えること
- ◆ 時差登校や分散登校、オンライン学習を組み合わせたハイブリッドな学習形態を実施すること
- ◆ 卒業式は開催方法を工夫する等、感染防止対策を徹底すること
- ◆ 春休み期間中における感染リスクが高い行動を控えるよう注意喚起をすること

学校等への支援

各学校の感染防止対策を支援

（例）消毒の実施、透明カーテン・サーキュレーター・
ＣＯ2センサーの設置、手洗い場の自動水栓化



ＣＯ2センサー

（対象）
府立学校、私立小･中･高等学校

保育所等における対策

◆ 感染対策を再点検し、必要に応じて強化すること

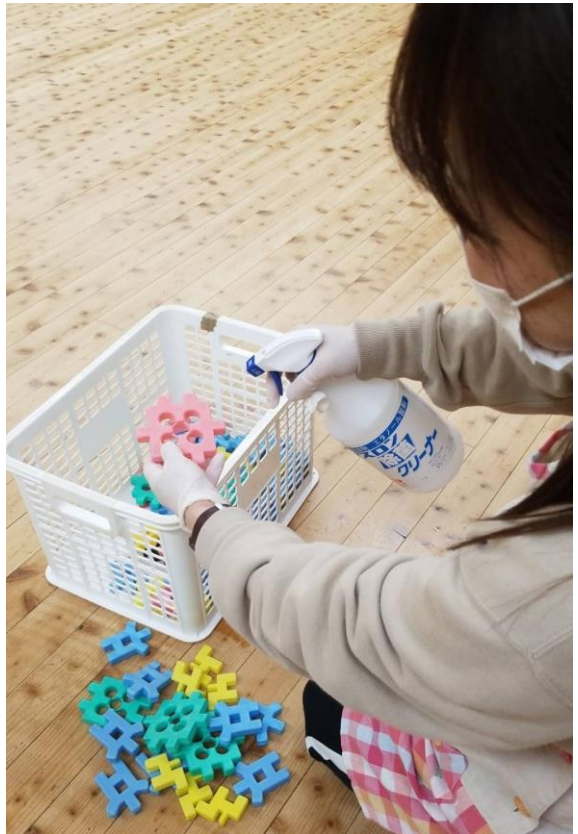
◆ 感染リスクが高い活動を避けるとともに、児童をできるだけ少人数のグループに分けるなど、感染を広げない形での保育の実践を行うこと

◆ 保護者が参加する行事の延期等を含めて大人数での行事を自粛すること

保育所等への支援

保育所等の感染防止対策を支援

（例）遊具等のこまめな消毒の実施、
マスクや手袋交換の徹底、陰性確認のための検査



（対象）
保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業所、認可外保育施設、放課後児童クラブ

高齢者施設等における対策

◆ 感染対策を再点検し、必要に応じて強化すること

◆ 施設内の感染拡大の発生を防ぐために、従事者等に対する検査を行うこと

◆ レクリエーション時のマスク着用、送迎時の窓開け等、「介護現場における感染対策の手引き」に基づく対応を徹底すること

◆ 面会者からの感染を防ぐため、オンライン等による面会の実施を基本とすること

◆ 通所施設において、導線の分離など、感染対策をさらに徹底すること

高齢者施設等への支援

- 高齢者施設等の感染防止対策を支援
  （例）消毒の実施、衛生用品の購入、
  マンパワーを活用するための緊急雇用
- 高齢者施設等従事者の週１回の集中検査
- 感染専門医、救急医、感染専門看護師で構成する施設内感染専門サポートチームの派遣

施設内感染専門サポートチーム
が施設職員を支援

入院療養体制の強化

更なる受入病床を拡充

●オミクロン株による高齢者を中心とした感染者に対応するため、更なる受入病床を拡充

確保病床（２月１日）	
病院数	４９病院

病床数	７６２床
重症病床	１７１床
高度重症病床	５１床
中等症病床	４７５床
軽症・無症状病床	１１６床
入院待機ステーション（臨時の医療施設）	１１０床
合　　計	８７２床

２月１８日	拡　充
５０病院	１病院

７９４床	３２床
１７１床	
５１床	
４８５床	１０床
１３８床	２２床
１１０床	
９０４床	３２床

※他に妊婦等配慮を要する方の専用病床20床

ワクチン接種の推進

３回目接種対象者全員分のワクチンを確保

３回目接種のさらなる加速

・接種券の早期発行を市町村に要請
・十分な供給のもと、集団接種日程等の拡大を要請

ワクチンの供給予定（R4.2.15国通知）

接種ワクチン	ファイザー	モデルナ	合計
3回目接種対象者数	約157万人（84%）	約30万人（16%）	約187万人
京都府への供給合計	101．9万人分（48%）	110．0万人分（52%）	211．9万人分

学校・幼稚園・保育園教職員等への３回目接種の推進

警察職員に引き続き、京都府接種会場も活用し、接種を推進

京都タワー会場を1,000人／日→1,300人／日に拡充

子どもの安心・安全に向けた接種の推進

小児（5歳～11歳）へのワクチン接種の開始

・対象人口（府内約14.5万人）の８割分が４月末までに供給予定
・保護者が正しい知識のもと接種を判断できるよう、効果や安全性の情報を発信
・問診や介助にあたる医療従事者を派遣し、小児接種に必要な体制整備を支援